

平成十六年度

佐伯藩政資料漢籍目錄



佐伯市教育委員会

ごあいさつ

佐伯藩八代藩主の毛利高標は、安永六年（一七七七）、藩校・四教堂（しこうどう）を開校し、また総数八万巻とも伝えられる佐伯文庫を蒐集した学者大名として名を知られた存在でした。佐伯文庫は、十代藩主高翰により二万巻が幕府に献上され、明治維新後は幕府から書陵部、内閣文庫へと引き継がれ現在に至っています。

佐伯市は、佐伯文庫の一部をはじめ、多くの漢籍を所蔵しています。その中でも、貴重資料である佐伯文庫は、昭和五十四年に調査を行い目録を発行しましたが、その他の漢籍につきましては、一部を除き未調査のままでした。

このたび、二松学舎大学の高山節也先生をはじめ、清水信子先生、佐川繭子先生のご協力を得て、藩政時代の家臣団や藩校「四教堂」の教材などの文献を調査し、『漢籍目録』を発刊する事ができました。目録は、八十二頁の詳細目録と四十二頁の簡略目録を作成してくださいましたが、今回、教育委員会で発行するにあたり、詳細目録を採用させていただきました。

本書が、近世佐伯の歴史研究の一助となるとともに、広く皆様に活用いただければ幸いに存じます。最後になりましたが、本調査を実施するにあたり、高山先生はじめ、ご協力を賜りました関係者の方々に、心よりお礼申し上げます。

平成十六年十二月

佐伯市教育委員会 教育長 藤 浦 武 久

前言

本目録は、大分県佐伯市教育委員会所管佐伯藩政期資料のうち、漢籍の分類目録である。佐伯には天下に名だたる佐伯文庫があるが、今回の漢籍目録はそれら別置された貴重書ではなく、当時の家臣団や藩校四教堂での教材など、むしろより民生に直結した文献群の目録である。その意味で当時の佐伯における漢学の趨勢や体制などを、如実に語る資料であるといえよう。所謂漢籍（唐本・和刻本）九十六点と準漢籍九十点は拮抗しており、その配分も経部・史部・子部・集部の比率が、漢籍では約四・二・二・二の割合で準漢籍もほぼこれに等しいという特徴がある。経学関連書籍が最も多量であるのは当時の蔵書傾向としては一般的であるが、史・子・集のなかで何らかの突出部のある場合も多い。佐伯の場合はそれがあまりみられず、ある意味で穏和な蔵書傾向であるといえよう。唐本の占める割合も極めて少なく全漢籍百八十六点中七点であるのも、実用性を窺わせる数値であろう。

蔵書印については、毛利家のものと判断しうるものは少なく、「毛利高謙」「字伯光」第十二代美濃守三点と「毛利高範」第十三代二点の蔵書印を持つものがあるのみで、おおむね家臣あるいは藩校関係のものである。なかでも突出して多いのが中島氏に関連するもので、「中島時軒蔵書之印」が二十七点、「紀虎」「文炳」の二面印十一點、「紀章」十三点、「時習齋」「時習」八点は時軒蔵書印と重複するものが多い。また「中島損印」「中損益夫」「紀損」「子玉」などが全十点あって、これらはまた別の同一人物に係わるであろう。また単に中島氏を称するものとしては「南豊佐伯海棠窩中島蔵」「中島」「中島蔵本」「閲堂中島」など六点がある。これらの正確な人物判定が必要であろう。ちなみに中島虎については慶応二年「時習館主人紀虎」の書き入れや、慶応元年の中島虎「四教堂卒業」の書き入れなどがあり、中島損につ

いては増太・如玉の名で『雅衍』跋文にみえる人物と同一人であろう。今後これらの正確な人物判定が必要である。

このたびの調査において、本来佐伯文庫に入るべき新出文献として『雅衍』二帙二十二冊の提示を受けた。精美な帙装の美本であって毛利高標の編纂物である。およその書誌と書き入れについて附録に収めた。

今回の調査は、佐賀大学井上敏幸教授の調査の一翼を担うかたちで、平成十五年八月十九日より二十三日まで第一次調査、平成十六年二月二十五日より二十七日まで第二次調査を実施し、その後は本務地にて対査入力作業を行った。調査には佐川繭子・清水信子の二氏を伴い、また本務地業務では分類配列ならびに入力作業を通じて、清水信子氏に負うところが多かった。また調査の全般に涉っては、佐伯市教育委員会の菅伊都子氏・谷川俊介氏にお世話になった。巻頭に記して謝意に換えたい。

なお本目録は、平成十五年度文部科学省特定領域研究「東アジア出版文化の研究」研究助成による成果の一つであることを付記する。

二松學舎大学 東アジア学術総合研究所 高山節也記

凡例

- 一、 本目録に言う漢籍とは、清代以前に中国人が著作したもので、和刻本、鈔本、或いは邦人による訓点、校勘が施されたもの等も含む。また原則として、中国では清代まで、日本では江戸時代までに出版・鈔写されたものを対象としたが、それ以降のものであっても再刊されたものについては著録した。
- 一、 邦人が注釈を加えたもの、抜粋改編したもの等は、「準漢籍」として別項を立てた。但し、注釈を加えたものであっても鰲頭本・両層本等については「漢籍」に含めた。
- 一、 分類は四部分類法に従い、排列は原則として『東京大学東洋文化研究所漢籍分類目録』に準拠した。尚、該当する文献のない場合は、分類の項目を省略した。
- 一、 表記は原本の表記に関わらず正字に統一した。
- 一、 各書の記載は、第一に書名・巻数、編著者名、出版事項、冊数、本蔵書分類番号、第二に匡廓・寸法、界線・每半葉行数毎行字数・注文形態・図、版心、訓点等版面、第三に著録内容、版心題、刊記、封面題、奥付、題簽題、印記、書き入れ事項等の順とした。
- 一、 書名は原則として巻一卷頭題より採るが、明記されていない場合は巻一版心題―目次題―封面題等より順次定めた。また、出版年はじめ全て同一の場合は「同」、同版の場合は「同版」とし、編著者事項以下著録内容等同一箇所

を省略した。

一、編著者事項については、中国人については朝代を冠し、編著者のみ上位二名、その他校訂者等は代表一名の各本姓名を記載した。尚、編著者二名が同一の朝代の場合、後者については省略した。

一、出版者については、出版地・屋号を冠し、代表一名を挙げた。また出版地において「大坂」は原本の表記に関わらず、「大阪」に統一した。

一、冊数において、「全」字を冠していないものは闕巻がある場合である。

一、寸法は、原則として巻一第一丁匡廓内、無匡廓の場合は書形を、縦横の順に各小数点第一位までを計測したもので、書形の場合は「(書形)」と付した。また両層の場合は全寸法、下層寸法、三層の場合は全寸法、第二層以下寸法、第三層寸法、鼈頭の場合は外廓寸法、内廓寸法の各順に()内に示し、同項末に各形体を付した。

一、著録内容の記載について

・各種括弧の別については、「」は原本表記事項、「〔 〕」は推定事項、()は補記及び補充説明、へゝは雙行記事を示す。従って例えば、各題が冒頭に無く版心等から定めた場合は「○○○(版心)」、内容から推定した場合は「〔 〕」等とした。蔵書印の「〔 〕」は同一印に二種の印面があるものについての記入方法である。

・序跋等については、著述年・著述者が明記されているときは、各題にこれを冠し、著述年が十千十二支等で表記されている場合は年次に改訂し、著述者が字号等で署名されている場合は原本表記通り記載後()内に正式名を補記した。

・その他の記号としては、「一」はその前後いずれかの記事が、複数行にまたがり表記されていることを示す。従って例えば、「明後學—無錫高攀龍雲從父集註／嘉興徐必達德夫父發明」とある場合は、「明後學」が下部二行に互る編著者事項の上部行間に表記されていることを示し、「新安朱熹／東萊呂祖謙—編集 建安葉采集解／新安吳勉學校閱」とある場合は、二行に互る編者記事の下部の行間に「編集」とあり、さらにその下部二行に注校者が表記されていることを示す。

一、版心題、封面題、題簽題について、各題が複数ある場合は「等」と付し、題以外の所載記事については「又」に続けて記載した。また題簽題が鈔写されている場合は「(書)」と付した。

一、刊記については、その形体に固有の名称がある場合はそれを挙げ、続いて所載事項、末に所在を記載した。

一、奥付については、原則として年次を含む記事、及び出版者に関する記事を原本所載通りに挙げたが、その具体的な住所記事は省略し、複数名の場合は代表一名のみを挙げ、「等」に続いて総数を記載した。また編著者等その他の記事がある場合は省略し、「他」と付した。

一、書き入れ事項については、本文中の朱筆、墨筆等は省略し、収蔵、来歴、鈔者等の記事のみ記載した。

一、所載事項はじめ書き入れ事項、蔵書印等における判読不明文字については、「□」とした。

佐伯藩政資料漢籍目錄

清水信子
高山節也
佐川繭子
協力
共編

漢籍

經部

第一 經注疏合刻類

〔改正音訓五經〕 後藤世鈞點 後藤師周等校 天保十年大阪山内五郎兵衛刊四刻本 全十一冊 2003—464、文 643（易
下以下）

周易二卷

尚書二卷

詩經二卷

春秋一卷

禮記四卷

單邊（二十二・六、十八・八）×十六・〇（兩層） 有界九行十七字 雙魚尾上小黑口下白口 句送返縱四聲點

首寬政二年林信敬「後藤點五經序」 次文化九年佐藤坦「再刻五經序」 次元符二年程頤「易傳序」 次「周易／上經」 以下卷下 次嘉定二年蔡沈「書集傳序」 次「尚書／虞書」(版心「上」) 以下卷下 次淳熙四年朱熹「詩傳序」 次「詩經／國風一」(版心「上」) 以下卷下 次「春秋胡氏傳序」 次「春秋／隱公」 次至治二年陳澧「禮記集說序」 次「禮記／曲禮上第一」(版心「一」) 以下至卷四 版心題「易經」等又「改正音訓」「後藤點」 封面題「(改正／音訓)五經」又「芝山後藤先生定本」「男師周孫師邵同校」「林家正本再刻」 奧付「天明四年甲辰九月朔旦御免上梓／天明七年丁未正月元旦發兌／文化十年癸酉正月吉旦再刻／文政十三年庚寅正月吉旦三刻／天保十年己亥正月吉旦四刻」又「浪華書肆／山内五郎兵衛」等出版者全三氏 題簽題「(改正／音訓)易經」又「(再刻)後藤點」 無印 書入「但・新／明治廿九年十一月四日初書入」(第一冊表紙裏)「吹浦／芦刈氏」(序)「□古／中村氏」(第一冊裏表紙裏)「當時／当地／大分縣知事山田爲□郡長玉置元資／又狹口重亞／南海郡西中浦村字吹浦字大河小字鯛納氏／主／芦刈謙策／南海郡郡佐伯市町中村ニテ調之」(第一冊裏表紙)「古中村氏／龜五郎」(「上彖傳」末)「芦刈謙策」(第六冊裏表紙)

同版(春秋闕) 弘化三年大阪山内五郎兵衛等修本 十冊 文613

奧付「天明四年甲辰九月朔旦御免上梓／天明七年丁未正月元旦發兌／文化十年癸酉正月吉旦再刻／文政十三年庚寅正月吉旦三刻／天保十年己亥正月吉旦四刻／弘化三年丙午十一月吉旦補刻」又「浪華書肆／山内五郎兵衛」等出版者全四氏 印記「霍山／之印」

第二 易類

單邊二十一・三×十六・一 有界九行十九字 單魚尾白口 句送返縱點

首元符二年程頤「易傳序」 次「周易／上經」 以下卷下 各卷末有「易經字引(版心)」 版心題「易經」 題簽題「易經」又「文化／新刻」「字引附」 無印

周易二十四卷首一卷(卷一至二十二、首闕) 宋程頤傳 朱熹本義 松永昌易首書 寬文四年刊大阪河內屋吉兵衛等後印本

一冊 16—243

單邊(二十一・七、十七・三)×(十五・九・十二・八)(龍頭) 有界八行十七字注文小字雙行 單魚尾白口 句送返縱點

首「周易卷之二十三 程朱傳義」 以下卷二十四 末有松永昌易識語 版心題「易經」 奧付「發行書林 大坂／河內屋喜兵衛」等出版者全七氏 印記「中島時軒／藏書之印」

易學啓蒙 [宋朱熹撰] 延寶二年京都銅駝坊書林村上平樂寺印本 全二冊 1704—331

雙邊(二十三・八、十六・三)×(十七・三・十三・五)(龍頭) 無界大字四行十二字小字八行十一字注文小字雙行 有圖 雙魚尾小黑口 送返縱點

首淳熙十三年雲臺眞逸「易學啓蒙序」 次「易學啓蒙／本圖書第一」 次「原卦書第二」 次「明著策第三」 次「考變占第四」 版心題「首書易學啓蒙」 刊記「延寶二年甲寅仲秋月／銅駝坊書林村上平樂寺彫刻」(第二冊末丁裏) 題簽題「(龍頭／評註)易學啓蒙」 無印

第三 書類

新鐫書經講義會編十二卷 明申時行撰 李鴻編 徐銓等校 延寶二年跋刊大阪河內屋太助等後印本 全八冊 17—334

單邊十九・二×十三・〇 無界十行二十六字 雙魚尾白口 送返縱點
首萬曆二十六年申時行「刻書經講義會編引」末曰「甥李鴻編輯／子用懋用嘉校訂／後學徐銓校刊」次「新鐫書經講義會編卷之一／太學士申時行著」以下卷二 次「新刊申少師書經講義會編卷之三」以下卷四 次「書經講義會編商書卷之五」次「新鐫書經講義會編卷之六」次「書經講義會編卷之七」以下卷八 次「書經講義會編周書卷之九」以下卷十 次「新鐫書經講義會編卷之十一」次「書經講義會編卷十二」末有延寶二年〔跋〕版心題「書經講義會編」奧付「發行書林 大阪 河內屋太助」等出版者全十氏 題簽題「書經講義」又「明申時行著」印記「中島時軒／藏書之印」〔「紀／虎」〕〔「文／炳」〕

第四 詩類

詩經二卷 後藤世鈞點 改正音訓五經零本 全一冊原裝二冊 645
單邊(二十二・二、十八・四)×十五・七(兩層) 有界九行十七字 雙魚尾上小黑口下白口 句送返縱四聲點

首淳熙四年朱熹「詩傳序」 次「詩經／國風一」(版心「上」) 以下卷下 版心題「詩經」又「改正音訓」〔後藤點〕
題簽題「〔改正／音訓〕詩經」又「再刻後藤點」 印記「蔭山／藏書」「佐伯市／圖書館／藏書」

詩經二卷 (慶應三年刊) 校正訓點五經零本 全二冊 文583

單邊十五・七×十・四 有界八行十八字 單魚尾白口 傍訓 送返點
首淳熙四年朱熹「詩傳序」 次「詩經上(版心)」 以下卷下 版心題「詩經」 題簽題「〔校正／訓點〕詩經」 印

記「□□／文庫」

詩經二十卷 周卜子夏序 漢毛亨傳 鄭玄箋 明金蟠訂 宇野成之標注 天明六年江戸崇文堂前川六左衛門等刊本 全五冊

單邊(二十三・四、十六・〇)×十四・五(兩層) 有界十行二十二字注文小字雙行 單魚尾白口 句送返縱點
 首「詩譜序」又有天明五年宇野成之識語 次「詩經目錄」末有圖 次「詩經卷一／周卜子夏序 漢一毛公傳／鄭玄箋一明金蟠訂」 以下至卷二十 版心題「詩經古注標記」 封面題「詩經古註標註」又「江都東山先生訂正」又有
 天明六年副千川思敬識語 奧付「天明六年丙午十月」「江都書坊 前川六左衛門」等出版者全六氏 題簽題「毛詩鄭箋標註」 印記「時習／齋」「中島時軒／藏書之印」「紀／虎」「文／炳」「紀／章」「中圭／之印」 書入「藝芻忠海池田衛守之所贈」(奧付)

同版(卷七至十一、十八以下闕) 明治中大阪文海堂修本 三冊 1901-1-3

封面題「詩經標註」又「明治補刻」「浪華 文海堂藏」 無印

詩經八卷(卷一至七闕) 宋朱熹集傳 松永昌易首書 鈴木溫校 寬政三年今村八兵衛據寬文四年刊本重刊 一冊 1601-

162

單邊(二十四・〇、十八・五)×(十六・七、十三・五)(鼈頭) 有界八行十七字注文小字雙行 單白魚尾白口 句送返縱點

首「詩經卷之八 朱熹集傳」末有松永昌易跋 又有寬政三年鈴木溫識語 版心題「詩經」 刊記「寬文四(甲／辰)歲九月吉辰／寬政三(辛／亥)歲五月再刻／今村八兵衛藏板」(末丁裏) 題簽題「(新刻／頭書)詩經集註」 印記「(西／谷)山口藏書」

同版 大阪河內屋太助後印本 全八冊 文 588

末有大阪河內屋太助「(和／漢)御書物古本賣買所」奧付 題簽題「(新刻／頭書)詩經集註」 印記「奧田氏／藏書章」

詩經八卷 宋朱熹集傳 松永昌易首書 鈴木溫校 慶應元年據寬政三年刊本重刊大阪象牙屋治郎兵衛等後印本 全八冊

1501—7

單邊 (十七・三、二十二・九) × (十三・二、十六、三) (龍頭) 有界八行十七字注文小字雙行 單白魚尾白口
句送返縱點

首淳熙四年朱熹「詩經集註傳序」 次「詩經篇目」 次「詩經卷之一 朱熹集傳」 以下至卷八 末有松永昌易跋
又有寬政三年鈴木溫識語 版心題「詩經」 刊記「寬文四(甲/辰)歲九月吉辰/寬政三(辛/亥)歲五月再刻/
慶應元(乙/丑)歲六月三刻」(第八冊末丁裏) 奧付「浪華書肆 河內屋佐助」等出版者全四氏又「大坂象牙屋治
郎兵衛」等出版者全七氏 題簽題「詩經集註」又「再刻/頭書」 印記「波」

詩經八卷 (卷一至四、六以下闕) 宋朱熹集傳 松永昌易首書 江戸期刊本 一冊 2002—453
單邊 (二十四・〇、十八・二) × (十五、九、十三・三) (龍頭) 有界八行十七字注文小字雙行 單白魚尾白口
句送返縱點

首「詩經卷之五 朱熹集傳」 版心題「詩經」 印記「佐伯/尋常/小學校」 不明印¹

詩經說約二十八卷 明顧夢麟撰 楊彝校 寬文九年芳野屋權兵衛刊京都出雲寺和泉掾後印本 全十四冊 1501—13

單邊十九・五×十四・〇 無界十一行二十五字 單魚尾白口 句送返縱點

首崇禎十五年顧夢麟「詩經說約序」 次「鑒定師友」 次「詩經集傳說約總目」 次「詩經說約卷之一/太倉顧夢
麟纂述/常熟楊彝參訂」 以下至卷二十八 版心題「詩經說約」又「織簾居」 刊記「寬文(己/酉)孟冬望日/
芳野屋權兵衛刊」(卷二十八末丁裏) 奧付「京師出雲寺和泉掾」 第三冊末有出雲寺松柏堂出版廣告 第四冊末有
出雲寺松柏堂山崎闇齋門人書目 題簽題「詩經說約」 印記「中島時軒/藏書之印」「紀/虎」「文/炳」

第六 春秋類

一 春秋左傳之屬

春秋左傳三十卷 晉杜預集解 那波師曾點 寛政十二年刊大阪大野木市兵衛等後印本 全七冊原裝十五冊 17—338—2

左右雙邊二十・三×十四・六 有界九行十九字 單魚尾白口 句送返縱點

首「春秋左氏傳集解序」 次「後序」 次天明七年源頼亮「重刻左氏傳後序」 次「春秋左傳卷一 杜氏集解」

以下至卷三十 次寶曆四年那波師曾「跋（版心）」又有安永六年那波師曾識語又有寛政十二年西三伯刊語（埋木）

版心題「左傳」又「那波師曾句讀」 奥付「大阪：大野木市兵衛」等出版者全四氏 題簽題「春秋左氏傳」又「再

刻」 印記「中島」「時習／齋」「古田藏書」「中島時軒／藏書之印」「豐後國南海部郡／佐伯町／中島□一郎」「中

／損」「益／夫」 書入「吳子□□甲堀□（時三十七／年）」「時習館中島虎文炳藏」（第十五冊表紙裏）「左傳國字

辨尾張加藤公達正菴」（卷二十七前）「慶應紀元乙丑閏五月拾玖日／於四教堂卒業／中島虎識之」（卷三十末丁表）

同版 大阪秋田屋太右衛門等後印本 全十五冊 文 537

奥付「大阪秋田屋太右衛門」等出版者全十二氏 印記「毛利」「霍山／之印」

音註全文春秋括例始末左傳句讀直解七十卷（卷十五至十七闕） 宋林堯叟撰 松永昌易點 寛文元年京都上村次郎衛門

刊本 二十三冊 文 536

單邊二十一・〇×十五・五 無界八行十六字注文小字雙行 雙魚尾白口 句送返縱點

首「春秋左氏傳序 晉杜元凱序／林唐翁解」 次「音註全文春秋括例始末左傳句讀直解卷／之一／後學梅谿林堯叟

唐翁」 以下至七十 卷二末曰「講習室人／昌易點焉」 版心題「左」 刊記「寛文元六月吉辰／二條通玉屋町上

上村板本」(卷二末丁裏)「上村次郎衛門新刊」(卷七十末丁裏) 題簽題「左傳」又「林堯叟註」 印記「泉文素藏」
「泉氏／久馮」「紀／章」「時習／齋」「紀／損」「中島時軒／藏書之印」

第七 四書類

一 論語之屬

論語十卷(存卷三至七) 宋朱熹集註 後藤機點 (明治十六年大阪清玉堂和田巳之助刊後印新刻改正四書零本) 二册 坂本⁹

單邊二十・九×十五・三 有界九行二十一字 單魚尾上黑口下白口 句送返縱四聲點
首「論語卷之三／朱熹集註」 以下至卷七 版心題「論語」又「明治再刻」 印記「坂本／藏書」

論語集註大全二十卷(卷一至四、十九以下闕) 明胡廣等奉敕編 徐汧訂 熊谷立閑評注 (元祿四年洛陽書肆刊鼈頭新增四書集註大全零本) 四册 2003—460

單邊(二十五・四、十八・二)×(十七・五、十四・一)(鼈頭) 無界八行二十一字 單魚尾上白口下小黑口 句送返縱四聲點

首「論語集註大全卷之五」 以下至卷十七 版心題「論語」又「鼈頭四書大全」 題簽題「鼈頭／口增」論語集註大全」 印記「中島時軒／藏書之記」「三江氏／藏書」

論語(存卷七第三十八丁) 首書四書集註零葉 一枚 157c—1中
單邊鼈頭 無界七行十五字 雙魚尾白口 句送返縱點

版心題「論語」又「首書四書集註」

二 孟子之屬

增補蘇批孟子三卷 宋蘇洵撰 清趙大浣補 井上揆纂評 (明治十三年) 東京大橋操吉刊本 全三冊 2002—456

雙邊(十九・〇、十四・九)×十一・六(兩層) 無界九行二十字注文小字單行二十九字 單魚尾白口 傍注點 句

返縱四聲點

首嘉慶十七年趙大浣「趙序」(卷題部虫損) 次「增補蘇批孟子／眉山蘇洵老泉原本／古岡趙大浣錦江增補／日本

井上揆一卿纂評」(版心「上孟」) 以下至卷下 版心題「增補蘇批孟子」 刊記「出版人 東京大橋操吉」他虫損

題簽題「增補蘇批孟子」又「井上揆／纂評」 印記「中口氏／藏書記」

三 四書之屬

〔小松板四書集註〕 宋朱熹撰 林信勝點 天保八年大阪積玉圃河內屋喜兵衛等刊大阪積玉圃河內屋喜兵衛等後印本 全六

冊 624

大學一卷

中庸一卷

論語十卷

孟子七卷

單邊十二・五×八・八 無界八行十七字注文小字雙行 無魚尾白口 句返點

首淳熙十六年朱熹「大學章句序」 次「大學」 次淳熙十六年朱熹「中庸章句序」 次「中庸」 朱熹章句」 次「論語序說」 次「論語卷之一 朱熹集註」 以下至卷十 次「孟子序說 朱熹集註」 次「孟子卷之一 朱熹集註」

以下至卷七 版心題「四書 大學」等 刊記「天保八歲丁酉曙春再刻／書林一江戸日本橋通壹丁目／須原屋茂兵衛／京都三條通御幸町／吉野屋仁兵衛／大阪心齋橋通北久太郎町／河內屋喜兵衛」(卷七末丁裏) 封面題「四書集註」

又「小松板」「道春點校正」「浪華積玉圍藏」 奥付「發行書林 大阪：河內屋喜兵衛」等出版者全十三氏 題簽

題「四書集註」 印記「中島時軒／藏書之印」「中／損」「益／夫」「蒲招損／謙受益」 書入「九峰九人島炳子

帛藏」(封面)「明治二己巳歲良月九日□□山」(卷七末丁裏)

〔改正四書集註〕(中庸・論語闕) 宋朱熹撰 後藤世鈞點 後藤師周校 嘉永六年大阪炭屋五郎兵衛等刊本 五冊 644

大學一卷

孟子十四卷

單邊十六・八×十一・七 有界九行十九字注文小字雙行三十二字 雙魚尾上小黑口下白口 句送返縱四聲點

首嘉永五年安積信「後藤點四書集註序」 次嘉永五年岡井馨「後藤點四書集註後序」 淳熙十六年朱熹「大學章句

序」 次「大學／朱熹章句」 次「孟子／朱熹集註序說」 次「孟子卷之一／朱熹集註」 以下至卷十四 版心題

「大學章句」等又「後藤點」 刊記「嘉永五年壬子臘月朔旦御免上梓／嘉永六年癸丑仲春吉旦發兌／東都書肆一日

本橋通壹丁目／須原屋茂兵衛／神田通新石町／須原屋源助／浪華書肆 上町南草屋町／炭屋五郎兵衛」(孟子卷十

四末丁裏) 封面題「改正四書集註」又「芝山後藤先生定本」「男師周校訂」「林本正本新刻」 題簽題「新刻／改

正」大學」等又「後藤點」 印記「加藤／剛印」「加藤」

〔改正四書集註〕(孟子闕) 宋朱熹撰 後藤世鈞點 後藤師周校 江戸期刊本 五冊 文 622

大學一卷

中庸一卷

論語十卷（卷一・二闕）

單邊二十・九×十五・三 有界九行十五字注文小字雙行 雙魚尾上小黑口下白口 句送返縱點

首淳熙十六年朱熹「大學章句序」 次「大學／朱熹章句」 次淳熙十六年朱熹「中庸章句序」 次「中庸／朱熹章句」

次「論語卷之三／朱熹集註」 以下至卷十 版心題「大學章句」等又「後藤點」 封面題「改正四書集註」

又「芝山後藤先生定本」「男師周校訂」「林家正本再刻」 題簽題「（新刻／改正）大學」等又「再刻後藤點」 印記「字／伯光」

〔鼈頭音註四書〕 宋朱熹撰 後藤機點 明治十四年刊同二十七年大阪龍章堂淺井吉兵衛寶玉堂岡島眞七重刊本 全十冊

646

大學一卷

中庸一卷

論語十卷

孟子十四卷

雙邊（二十・二、十八・五）×十四・八（兩層） 有界九行十五字注文小字雙行三十字 單魚尾上小黑口下白口 句

送返縱點

首淳熙十六年朱熹「大學章句序」 次「大學／朱熹章句」 次淳熙十六年朱熹「中庸章句序」 次「中庸／朱熹章句」

次「論語／朱熹集註序說」 次「論語卷之一／朱熹集註」 以下至卷十 次「孟子／朱熹集註序說」 次「孟

子卷之一／朱熹集註」 以下至卷十四 版心題「大學」等 封面題「鼈頭音註四書集註」又「明治廿七年再版」「後

藤松陰訓點「浪華一淺井龍章堂／岡島寶玉堂」 奥付「明治十四年三月十八日御届／同年八月十五日发布／同廿七年二月廿四日再刻」又「出版人 大阪：／淺井吉兵衛」等出版者全二氏他 題簽題「（鼈頭／音註）大学」又「後藤點」 印記「芳刈／恭口」「芳刈」

〔四書集註〕 宋朱熹撰 久留間與三點 明治十七年松浦要祐銅版本 全五冊 20—01—446（學庸）666（論孟）

大學一卷

中庸一卷

論語十卷

孟子十四卷

雙邊九・九×六・六 有界九行十七字注文小字雙行二十五字 單魚尾白口 句送返縱點

首淳熙十六年朱熹「大學章句序」 次「大學／朱熹章句」 次淳熙十六年朱熹「中庸章句序」 次「中庸／朱熹章句」

次「論語／朱熹集註序說」 次「論語卷之一／朱熹集註」 以下至卷十 次「孟子／朱熹集註序說」 次「孟子卷之一／朱熹集註」

以下至卷十四 版心題「大學章句」等 封面題「四書集註」又「安藝久留間與三訓點」「（明治十七年／五月新刻）東同盟舍梓」 奥付「明治十七年四月十三日御届／同年六月卅日刻成」又「出版者 松浦要祐」又專賣者全二氏發賣書肆全六氏他 題簽題「（明治／訓點）四書集註」 印記「穗／積」「穗積」

治十七年／五月新刻）東同盟舍梓」 奥付「明治十七年四月十三日御届／同年六月卅日刻成」又「出版者 松浦要祐」又專賣者全二氏發賣書肆全六氏他 題簽題「（明治／訓點）四書集註」 印記「穗／積」「穗積」

同 全五冊 19—1—9

無印 書入「南豐佐伯／海棠窩中島藏」

松陽講義十二卷（卷三以下闕） 清陸隴其撰 侯銓等編 篠崎弼點（文政十一年江戸須原屋茂兵衛等刊本） 一冊原裝二冊 16—241

左右雙邊十八・〇×十二・五 有界十一行二十字 雙魚尾小黑口 句送返縱點

首文化十年古賀樸「序」 次康熙二十九年陸隴其「序」 次「松陽講義目錄／當湖陸隴其稼書著 受業一吳縣席永恂／嘉定侯銓／太倉王前席一編次」 次「松陽講義卷之一／當湖陸隴其稼書著 受業一吳縣席永恂／嘉定侯銓／太倉王前席一編次」 以下卷二 版心題「松陽講義」 印記「中島時軒／藏書之記」「紀／章」「中／損」「益／夫」「紀／虎」「文／炳」

第八 孝經類

孝經一卷 筒井憲點 市河三亥書 嘉永三年薩摩府學刊本 全一冊 文595

單邊二十四・七×十五・九 有界五行九字 無魚尾白口 句送返縱點

首嘉永三年筒井憲「刻古文孝經敘」 次「孝經」末曰「邨嘉平刻」 版心題「古文孝經」 刊記「嘉永三年歲次庚戌仲／春月／市河三亥書」「薩摩府／學刊行」(印) 封面題「古文孝經」又「嘉永庚戌新鐫」「薩摩府學藏版」 印記「座右藏書」 書入「毛利氏」

孝經大義一卷 宋朱熹刊誤 元董鼎注 寬文十年大阪松村九兵衛刊大阪敦賀屋彦七等後印本 全一冊 文585

單邊二十・八×十六・〇 無界十行十七字 單魚尾白口 送返縱點

首大德九年熊禾「孝經大義序」 次「目錄」 次「孝經大義」(朱文公刊誤／鄱陽董鼎註) 次成化二十二年徐貫「識語」 版心題「孝經」 刊記「寬文十(庚／戌)九月吉旦／浪花書林 松村九兵衛」(識語末) 奧付「大坂敦賀屋彦七」等出版者全八氏 題簽題「孝經大義」又「羅山／□□」 無印

第十 小學類

三 各體字書之屬

字彙十二卷首一卷末一卷韻法直圖一卷韻法橫圖一卷(末、西集闕) 明梅膺祚撰 馮夢龍重訂 橫圖明李世澤撰 江戸

期刊本 十二冊 19-1-10

單邊十七・七×十一・六 無界八行十二字相當注文小字雙行二十四字 有圖 無魚尾白口 送返縱點

首萬曆四十三年梅鼎祚「字彙」 次「字彙凡例」 次「字彙目錄」 末有識語(埋木) 次「字彙首卷／宣城梅膺祚

誕生集」 次「字彙子集／宣城梅膺祚誕生音釋」 以下至亥集 各卷前有各卷目錄 寅集撰者又曰「古吳馮夢龍猶

龍重訂」 次「辨似」 次「韻法直圖／宣城梅膺祚誕生」 次「韻法橫圖／宣城梅膺祚誕生撰」 次「韻法橫圖／

上元李世澤嘉紹識」 無版心題 封面題「鐫宣城梅誕生／先生重訂字彙」又「鹿角山房藏版」 印記「關／堂」「佛

灣／僧寶」

字彙十二卷首一卷末一卷韻法直圖一卷韻法橫圖一卷(子、丑、卯、午、申、酉、戌集、韻法直圖、韻法橫圖闕) 明梅

膺祚撰 馮夢龍重訂 橫圖明李世澤撰 寬文十一年京都忠興堂印本 六冊 2003-467

單邊二十二・二×十七・四 無界十一行十五字相當注文小字雙行三十字 無魚尾白口 送返縱點

首萬曆四十三年梅鼎祚「字彙序」 次「字彙凡例」 次「字彙目錄」 次「字彙首卷／宣城梅膺祚誕生集」 次「字

彙寅集／宣城梅膺祚誕生音釋 古吳馮夢龍猶龍重訂」 以下至亥集 次「辨似」 無版心題 刊記「寬文十一(辛

／亥) 曆／仲冬吉辰／洛城忠興堂」(「辨似」末丁裏) 封面題「四聲韻字彙」裏「鐫宣城梅誕生／先生重訂字彙」

又「鹿角山房藏版」 又有封面曰「新添增補／四聲韻字彙／改正訓點」 題簽題「字彙」 印記「(西／谷) 山口藏

書」

字彙十二卷首一卷末一卷韻法直圖一卷韻法橫圖一卷附字彙增註補遺 明梅膺祚撰 馮夢龍重訂 笠原玟註 增笠原玟撰 (寬文十二年序刊) 京都風月勝左衛門等後印本 全十五冊 1702—301

單邊(二十五・八、二十、五)×十七・二(兩層) 無界十一行十四字相當注文小字雙行二十八字 無魚尾白口 送返縱點

首萬曆四十三年梅鼎祚「字彙序」 次「字彙凡例」 次「字彙目錄」 次「字彙首卷／宣城梅膺祚誕生集」 次「字彙子集／宣城梅膺祚誕生音釋」(上層「增註」) 以下至亥集 寅集撰者又曰「古吳馮夢龍猶龍重訂」 次寬文十二年簡室(笠原玟)「字彙增註補遺序」又有「字彙增註補遺總例」 次「辨似」 次「韻法直圖／宣城梅膺祚誕生」 次「韻法目錄」 次「公韻屬官音」 次「韻法橫圖／宣城梅膺祚誕生課」 無版心題 刊記「大坂高麗橋一丁目／芳野屋五兵衛／華洛二條通衣棚角／風月勝左衛門」(「韻法橫圖」末丁裏) 封面題「鐫宣城梅誕生／先生重訂字彙」又「鹿角山房藏版」 題簽題「(增／註)頭書字彙」 無印

康熙字典十二集附總目・檢字・辨似・等韻・補遺・備考 清凌紹雯等奉敕編 清道光七年據內府刊本重刊 全四十冊 2003 —468

雙邊十二・九×八・八 無界八行十二字相當注文小字雙行二十四字 單魚尾白口 無點
首康熙五十五年陳邦彥「御製康熙字典序」 次「上諭(版心)」 次「序」 版心曰「道光七年重刊原奏」 次「道光七年奉旨重刊字典諸臣職名」 次「康熙字典凡例」 次「康熙字典／總閱官」等 次「康熙字典總目」 又有「檢字」「辨似」 次「等韻切音指南」 次「字母切韻要法」 次「康熙字典／子集上」 以下至亥集下 各卷前有各卷目 次「康熙字典補遺總目」 次「康熙字典備考總目」 次「康熙字典補遺」 次「康熙字典備考」 版心題「康熙字典」 封面題「康熙字典」又「御製」「道光七年校本」 印記「四教堂藏」「佐伯市／圖書館／藏書」「佐伯文庫」 不明印1 書入「康熙字典／六套四十本／弘化三丙午夏五月／中島藏本」(函蓋裏)

康熙字典十二集（存辰集中下） 清凌紹雯等奉敕編 清刊本 二冊 2002—452

雙邊十九・一×十三・〇 無界八行十二字相當注文小字雙行二十四字 單魚尾白口 無點

首「康熙字典／辰集中」以下至下 版心題「康熙字典」 印記「佐伯／尋常／小學校」

康熙字典十二集（存子集至戌集上） 清凌紹雯等奉敕編 江戶期刊本 三十一冊 713

雙邊十八・八×十二・八 無界八行十二字相當注文小字雙行二十四字 單魚尾白口 送返縱點

首「康熙字典／子集上」以下至戌集上 各卷前有各卷目 版心題「康熙字典」 印記「多々良藏書」

康熙字典十二集附總目・檢字・辨似・等韻・備考・補遺・琢屑・初學索引（未集中下・亥集下闕） 清凌紹雯等奉敕編 琢

屑都賀庭鐘等撰 索引都賀枝春編（安永九年刊）明治二年大阪浪華書堂修本 三十八冊 1902—343

雙邊十八・八×十二・九 無界八行十二字相當注文小字雙行二十四字 單魚尾白口 送返縱點

首安永七年都賀庭鐘「翻刻康熙字典序」 次康熙五十五年陳邦彥「御製康熙字典序」 次「康熙字典／總閱官」等

次「上論（版心）」 次「康熙字典凡例」 次「康熙字典總目」 次「檢字」又有「辨似」 次有封面「大江先生／

補攷琢屑／大陸先生／初學索引」 次「琢屑目序（版心）」末有都賀枝春「琢屑序」 次「字

典琢屑／日本浪華都賀庭鐘六藏補攷／男枝春直丞音攷」 次「字典初學索引」 次「康熙字典備考總目」 次「康

熙字典備考」 次「康熙字典補遺總目」 次「康熙字典補遺」 次「康熙字典／子集上」 以下至亥集中 各卷前

有各卷目 版心題「康熙字典」 封面題「〈翻／刻〉康熙字典」又「明治二己巳歲校正」「浪華書堂藏」 印記「佐

伯高等／小學校印」

三字經一卷 宋王應麟撰 文化十四年江戸萬笈堂英平吉刊本 全一冊 文584

單邊十九・二×十三・四 有界四行六字 無魚尾白口 送返點

首「三字經（版心）」 版心題「三字經」 刊記「文化丁丑冬／萬笈堂英平吉」（末丁裏） 封面題「三字經」又「王

伯厚先生纂「萬笈堂英平古」題簽題「三字經」無印

三字經一卷 宋王應麟撰 鈔本 全一冊 19—1—11

無邊二十五・〇×十七・〇（書形） 無界八行十二字 無魚尾白口 無點

首「三字經 宋王伯厚先生著」 無印

四 音韻之屬

詩韻珠璣五卷（卷一、二下以下闕） 清余照輯 東條耕校（天保二年刊本） 一冊 16—242

單邊十六・六×十一・二 有界十行十九字相當注文小字雙行三十六字 單魚尾白口 送返點

首「詩韻珠璣卷二之上／江都余照春亭輯」末曰「東條耕校訂」 版心題「詩韻珠璣」 題簽題「詩韻珠璣」 印記

〔中／損〕〔益／夫〕〔吉野藏書〕

史部

第一 正史類

二 分刻之屬

後漢書九十卷志三十卷（卷一至十二、十四、十五、十九至二十一、二十四、二十五、二十八至三十、三十三至三十六、四

十一至四十六、五十一至五十四、五十九、六十、六十三至六十六、六十八至七十三、七十六至七十八、八十、八十二、八十九、九十、志卷一至三、七至九、十三、十四、二十四至二十八闕） 宋范曄撰 唐李賢注 志晉司馬彪撰 梁劉昭注 元張輿等校

江戶期據古活字印本重刊 板狀二十七冊 2002—454

單邊二十一・五×十六・七 無界九行十七字注文小字雙行 雙魚尾小黑口 送返縱點

首「後漢書志第四 劉昭注補」 以下至卷三十 次「隗囂公孫述列傳第三／范曄 後漢書十三」 以下至卷七十八

各卷末有校正者名 版心題「後漢志」等 題簽題「後漢書」 印記「四教堂藏」「佐伯／尋常／小學校」 不明印1

三國志 魏書三十卷蜀書十五卷吳書二十卷 晉陳壽撰 宋裴松之注 明陳仁錫評閱 寬文十年修京都秋田屋山本平左衛

門村上勘兵衛等後印本 全四十冊 16—164

單邊二十・六×十四・一 有界十行二十字 單魚尾白口 眉注 傍點 句送返縱點

首天啓六年陳仁錫「三國志序」 次寬文十年林叟「新刊三國志序」 次寬文十年田（田中）犀「新刊三國志序」

次萬曆二十四年馮夢禎「敘重刻三國志」 次萬曆二十四年黃汝良「重刻三國志小序」 末曰「吳門勵氏章欽」 次「晉

書本傳」 次元嘉六年裴松之「上三國志注表」 次「三國志目錄／晉平陽侯相陳壽撰」 次「三國志／晉平陽侯相

陳壽撰述／宋西鄉侯裴松之集註／明長洲陳仁錫評閱／魏」 以下至魏三十 次「三國志目錄中」 次「三國志／晉

平陽侯相陳壽撰述／宋西鄉侯裴松之集註／明長洲陳仁錫評閱／蜀一」 以下至蜀十五 次「三國志目錄下／晉平陽

侯相陳壽撰」 次「三國志／晉平陽侯相陳壽撰述／宋西鄉侯裴松之集註／明長洲陳仁錫評閱／吳一」 以下至吳二

十 版心題「三國志」 刊記（埋木）「寬文拾曆（庚／戌）三月吉祥日／書肆一二条通／村上勘兵衛／京極通秋田屋

／山本平左衛門一板行」（吳書末卷末丁裏） 題簽題「三國志」 無印

三 注補表譜考證之屬

史記評林百三十卷補史記一卷首二卷（卷三十二至三十七、四十二至四十五、百二十三至百二十五闕） 明凌稚隆輯校 李

光緒增補 寬文十二年八尾甚四郎友春刊延寶二年同修本 二十二冊 17—335・336（自卷三十八）

單邊（二十三・八、十九・六）×十六・六（兩層） 無界十二行十九字注文小字雙行 單魚尾黑口 傍注 送返點

首王世貞「史記評林敘」 次萬曆四年茅坤「刻史記評林序」 次萬曆五年徐中行「史記評林敘」 次「史記評林目

錄／漢太史令龍門司馬遷著／宋中郎外兵曹三軍裴駟集解／唐朝散大夫國子博士弘文館學士河內司馬貞索隱／唐諸王

侍讀宣議郎守右清道率府長史張守節正義」 次「史記索隱序／朝散大夫國子博士弘文館學士河內司馬貞」 次司馬

貞「史記索隱後序／司馬貞」 次司馬貞「補史記序／司馬貞」 次開元二十四年「史記正義序」 次裴駟「史記集

解序／宋中郎外兵曹三軍裴駟」 次「史記正義論例／諸王侍讀宣議郎守右清道率府長史張守節上」 次「史記正義

諡法解／張守節上」 次「史記正義列國分野／張守節」 次「系圖」等 次「史記評林凡例」 末有凌稚隆識語及李

光緒識語 次「史記評林姓氏」 次「史記評林引用書目」 次「讀史總評」 次「附 短長說上」 次「補史記」 吳

興凌稚隆輯校／溫陵李光緒增補」／三皇本紀 唐司馬貞補并註」 次「史記評林卷之一」 吳興凌稚隆輯校／溫陵

李光緒增補」 以下至卷百三十 版心題「史記」又「寬文壬子年刊」「八尾友春」 刊記「延寶二甲寅曆仲春夏吉

辰／洛陽寺町通本能寺前／八尾甚四郎友春重刊」（卷百三十末丁裏） 題簽題「新／刻／校／正」史記評林」 印

記「西／谷」山口藏書」

史記評林百三十卷補史記一卷首二卷（卷二十八至四十三、五十八至七十闕） 明凌稚隆輯校 李光緒增補 天明六年八尾

甚四郎友春刊寬政四年大阪松村九兵衛等修本（廣華堂藏板） 二十冊 文G25

單邊（二十二・八、十八・七）×十六・〇（兩層） 無界十二行十九字注文小字雙行 單魚尾黑口 送返點

首萬曆五年徐中行「史記評林敘」 次司馬貞「史記索隱序／朝散大夫國子博士弘文館學士河內司馬貞」 次司馬貞

「史記索隱後序／司馬貞」 次司馬貞「補史記序／司馬貞」 次裴駰「史記集解序／宋中郎外兵曹三軍裴駰」 次「史記正義論例／諸王侍讀宣議郎守右清道率府長史張守節上」 次「史記正義論法解／張守節上」 次「史記正義列國分野／張守節」 次「系圖」等 次「史記評林凡例」 次「史記評林姓氏」 次「史記評林引用書目」 次「史記評林目錄」 次「讀史總評」 次「附 短長說上」 以下至下 次「補史記」 〈吳興凌稚隆輯校／溫陵李光緒增補〉 以下至卷百三十 版心題「史記」 補／三皇本紀」 次「史記評林卷之一」 〈吳興凌稚隆輯校／溫陵李光緒增補〉 以下至卷百三十 版心題「史記」 又「天明丙午再刊」「八尾友春」 刊記「八尾甚四郎友春梓行」(卷百三十末丁裏) 奧付「寬文十二年壬子年新刻／天明六丙午年再刻／寬政四年壬子年補鑄／廣華堂藏板」又「大坂書林 松村九兵衛」等出版者全三氏 題簽題「(新／刻／校／正)史記評林」 無印

同版(補史記、首、卷一至六十五、八十七至九十三、百一至百六、百二十六以下闕) 七冊 2001—442

抹消印「□塵□」「南嶺／舍」

史記評林百二十卷補史記一卷首二卷 (首、卷七十至七十八闕) 明凌稚隆輯校 李光緒增補 明和七年據寬文十三年刊本重刊天明九年柳原喜兵衛等印本 二十三冊 1705—337

左右雙邊(二十三・二、二十一・〇)×十六・〇(兩層) 有界十二行二十二字注文小字雙行 單魚尾白口 送返縱點

首「補史記」 〈吳興凌稚隆輯校／溫陵李光緒增補〉／三皇本紀 唐司馬貞補并註」 次「史記評林卷之一」 〈吳興凌稚隆輯校／溫陵李光緒增補〉 以下至卷百三十 版心題「史記」 奧付「寬文十三年癸丑二月元刻／明和七年庚寅三月再刻／天明九年己酉正月求版」又「浪華書林 柳原喜兵衛」等出版者全三氏 題簽題「(校正／再板)史記評林」 印記「藤山／藏書」不明印1 書入「和田宗迪」「和田松育」

同版 無刊記後印本 全二十五冊 文 614

左右雙邊（二十三・六、二十・九）×十六・〇（兩層） 有界十二行二十二字注文小字雙行 單魚尾白口 送返縱點

首黃洪憲「敘李生增補史記評林／黃洪憲拜言」 次王世貞「史記評林敘」 次萬曆四年茅坤「刻史記評林序」 次萬曆五年徐中行「史記評林敘」 次「史記索隱序」 次司馬貞「史記索隱後序／司馬貞」 次司馬貞「補史記序／司馬貞」 次張守節「史記正義序／諸王侍讀宣議郎守右清道率府長史張守節上」 末曰「建陽後學一雲濱熊體忠／獻芻劉朝箴一仝梓」 次裴駘「史記集解序／宋中郎外兵曹三軍裴駘」 次「史記正義論例／諸王侍讀宣議郎守右清道率府長史張守節上」 次「史記正義諡法解／張守節上」 次「史記正義列國分野／張守節」 次「系圖」等 次「史記評林凡例」 末有凌稚隆識語李光縉識語 次「史記評林姓氏」 次「史記評林引用書目」 次「史記評林目錄／漢太史令龍門司馬遷著／宋中郎外兵曹三軍裴駘集解／唐朝散大夫國子博士弘文館學士河內司馬貞素隱／唐諸王侍讀宣議郎守右清道率府長史張守節正義」 次「讀史總評」 次「附 短長說」 次「補史記（吳興凌稚隆輯校／溫陵李光縉增補）／三皇本紀 唐司馬貞補註」 次「史記評林卷之一（吳興凌稚隆輯校／溫陵李光縉增補）」 以下至卷百三十 版心題「史記」 題簽題「（校正／再板）史記評林」 印記「豐後國／佐伯慶／杜之章」

第二 編年類

一 通紀之屬

綱鑑精采二十卷 明葉向高撰 坂田丈平校 明治十一年大阪文海書屋松村九兵衛五色套印本 全二十冊 文532（卷十）文

單邊(十六・三、十三・二)×十・二(兩層) 有界九行十八字注文小字雙行 有圖 單魚尾上黑口下白口 句返點

首明治二年阪谷素「序」 次明治十年阪田丈平「刻鋼鑑精采例言」 次「建都備考」 次「鋼鑑精采卷之一／明葉向高進卿輯／日本坂田丈平校」 以下至卷二十 版心題「鋼鑑精采」 封面題「鋼鑑精采」 又「明葉向高進卿輯／日本坂田丈平校」 「浪華文海書屋發兌」 奧付「明治十年五月廿三日版權免許／同年十二月出版」 「出版人 松村九兵衛」 他(第十冊末) 又「明治十年五月廿三日版權免許／同十一年十一月出版」 「出版人 松村九兵衛」 又有「發行書肆」全十八氏 題簽題「鋼鑑精采」 印記「毛利高範／華族東京芝区南佐久間町二丁目十八番地(住所記事圍繞)」

通鑑肇要前編二卷附一卷正編十九卷續編八卷明史肇要八卷 清姚培謙・張景星編 陸奎勲等校 增田貢點 明治九年東京別所平七刊本 全十五冊 文 609

左右雙邊(十四・六、十三・三)×八・六(兩層) 無界九行二十字注文小字雙行 無魚尾白口 句返點
首明治九年島田重禮「翻刻通鑑肇要序」 次明治九年增田貢「校刻通鑑肇要引」 次乾隆十一年陳世倌「陳序(版心)」 次乾隆十一年黃之雋「黃序(版心)」 次「通鑑肇要總目」 次「通鑑肇要目錄／前編」 次「通鑑肇要附錄」 次「通鑑肇要前編卷一／雲間一姚培謙平山／張景星二銘一同錄／同學陸奎勲坡星參閱」 以下卷二 次「通鑑肇要正編目錄」 次「通鑑肇要正編卷一／雲間一姚培謙平山／張景星二銘一同錄／同學傅王露雲閩林參閱」 以下至卷十九 次「通鑑肇要續編目錄」 次「通鑑肇要續編／雲間一姚培謙平山／張景星二銘一同錄／同學顧棟高復初參閱」 以下至卷八 次乾隆二十四年王延年「敘」 次「明史肇要目錄」 次「明史肇要卷一／雲間一姚培謙平山／張景星二銘一同錄／同學傅王永祺補堂參閱」 以下至卷八 次明治九年□□行「跋」 版心題「通鑑肇要」 又「萬青堂」 封面題「通鑑肇要」 又「明治九年丙子十月翻刻」 「東京書肆四書估藏版」 奧付「明治九年(丙／子)」

二月三日御届／同年十一月出版「出版人 別所平七」他又有「三都賣弘書肆」全十四氏 題簽題「増田／貢校／點」通鑑肇要」 印記「毛利／高範」

第五 別史類

立齋先生標題解註音釋十八史略七卷 元曾先之編 明陳殷音釋 王逢校 岩垣彦明校 岩垣松苗再校 元治元年京都五車樓菱屋孫兵衛等刊本 全七冊 1603—164

單邊(二十一・九、十八・二)×十四・六(兩層) 有界十一行二十二字注文小字雙行 無魚尾白口 眉注 句送返縱點

首天保九年岩垣松苗「音博士岩垣先生十八史略序(版心)」 次寛保二年服(服部)元喬「史略南郭題言」 次洪武五年陳殷「史略敘」 次「史略音釋凡例」 次「立齋先生十八史略目錄」 次「立齋先生標題解註音釋十八史略卷之一／前進士廬陵曾先之編次／後學臨川陳殷音釋／番易松塢王逢點校／建陽縣丞南康何景春捐俸刊」上層「日本從五位下岩垣／彦明校訂標記／孫大學音博士／松苗再校増補」 以下至卷七 次天明元年藤原正臣「再刻補正十八史略跋」 版心題「大夫岩垣龍溪先生標記音博士東園先生再校十八史略」 封面題「十八史略」又「大夫嚴垣龍溪先生標記／孫音博士東園先生再校増補」 「皇都一松柏堂／五車樓一梓」 「元治元年甲子再刻」 奥付「元治元年甲子四刻成」又「京／菱屋孫兵衛」等出版者全四氏 題簽題「(標記／増補)十八史略」 印記「(西／谷)山口藏書」

第九 傳記類

九 記言記事之屬

宋朱晦庵先生名臣言行錄前集十卷後集十四卷補遺正誤一卷 宋朱熹撰 李衡校 明張采評閱 宋學顯等參正 鵜飼眞奉點 寛文七年刊京都風月莊左衛門後印大阪前川文榮堂河内屋源七後印本 全六冊 649

單邊二十・〇×十三・八 無界十行二十字 單魚尾白口 眉注 傍線 句送返縱點

首崇禎十一年張采「題辭」 次萬曆三十五年焦竑「刻宋名臣言行錄序」 次崇禎六年楊以任「重修宋名臣言行錄序」 又有張采跋 次崇禎十一年張采「紀事」 崇禎十年儉齋主人「儉齋書目」 次張采「讀前集」 次朱熹「原敍」 次

「宋名臣言行錄前集總目」宋晦庵先生朱熹纂輯／太平老圃李衡校正／明後學婁東張采評閱一茂苑宋學顯／當湖馬嘉植一參正」 次「補遺」 次「宋朱晦庵先生名臣言行錄前集卷一／明後學張采受先評閱一宋學顯令申／馬嘉植培元一

參正」 以下至卷十 次張采「讀後集」 次「宋名臣言行錄後集總目／宋晦庵先生朱熹纂輯／太平老圃李衡校正／明後學婁東張采評閱一茂苑宋學顯／當湖馬嘉植一參正」 次「宋朱晦庵先生名臣言行錄後集卷一／明後學張采受先評閱一宋學顯令申／馬嘉植培元一參正」 以下至卷十四 版心題「名臣言行錄」 刊記「寛文七年丁未冬十一月／

京都書肆 二條町／風月莊左衛門發行」(後集卷十四末末丁裏) 封面題「名臣言行錄」又「(前集／後集)全六冊」

「宋朱晦庵先生纂輯／明張受先先生評閱」(大阪 前川文榮堂) 題簽題「宋名臣言行錄」 印記「(西／谷)山口

藏書」

同版(前集卷一至六、後集卷一至三、補遺正誤闕) 大阪河内屋喜兵衛等後印本 三冊 648

奥付「發行書肆 大阪 河内屋喜兵衛」等出版者全十三氏 印記「中島時軒／藏書之印」(「紀／虎」「文／炳」)

同版 大阪岡田群玉堂河内屋茂兵衛等後印本 全六冊 文587

封面題「名臣言行錄」又「(前集／後集)全六冊」「宋朱晦庵先生纂輯／明張受先先生評閱」「京攝 四書堂合梓」

奥付「書林 大坂 河内屋茂兵衛」等出版者全十一氏 無印

同版(前集卷四以下、後集、補遺正誤闕) 一册 16—240

印記「下川藏書」(緒方惟孝氏)／寄贈／大正(三)年(十)月(十)日(括弧内手鈔)

宋朱晦庵先生名臣言行錄前集十卷後集十四卷補遺正誤一卷 宋朱熹撰 李衡校 明張采評閱 宋學顯等參正 鵜飼眞奉點 明治十七年大阪松村九兵衛等據寛文七年刊本重刊 全六册 647(前集) 647—b(後集、補遺正誤)

單邊十九・〇×十三・七 無界十行二十字 單魚尾白口 眉注 句送返點

首崇禎十一年張采「題辭」 次崇禎六年楊以任「刻名臣言行錄序」又有張采跋 次「紀事」 崇禎十年儉齋主人「儉齋書目」 次張采「讀前集」 次朱熹「原敍」 次「宋名臣言行錄前集總目」宋朱晦庵先生朱熹纂輯／太平老圃李衡

校正／明後學婁東張采評閱一茂苑宋學顯／當湖馬嘉植一參正」 次「宋朱晦庵先生名臣言行錄前集卷一／明後學張

采受先評閱一宋學顯令申／馬嘉植培元一參正」 以下至卷十 次張采「讀後集」 次「宋名臣言行錄後集總目」宋

晦庵先生朱熹纂輯／太平老圃李衡校正／明後學婁東張采評閱一茂苑宋學顯／當湖馬嘉植一參正」 次「補遺」(末題

「名臣錄補遺正誤」) 次「宋朱晦庵先生名臣言行錄後集卷一／明後學張采受先評閱一宋學顯令申／馬嘉植培元一參

正」 以下至卷十四 末有「岡田群玉堂書目」 版心題「名臣言行錄」 刊記「寛文七年丁未冬十一月／京都書肆

二條町／風月莊左衛門發行」(後集卷十四末丁裏) 封面題「名臣言行錄」又「(前集／後集)全六册」宋朱晦庵先

生纂輯／明張受先先生評閱「浪華書林 六書堂合梓」 奥付「大阪書林 河内屋茂兵衛」等出版者全六氏(第三册

前集卷十四末)又「明治十七年一月二十五日翻刻御届／同年二月二十四日出版」發行書房 大阪／松村九兵衛」等

出版者全六氏他(第六册末) 題簽題「宋名臣言行錄」 印記「穴野」

第十一 地理類

十二 土諺習俗之屬

荊楚歲時記一卷 梁宗懷撰 明徐仁中閱 山內元春點 元文二年大阪北田清左衛門刊本 全一冊 17—270

單邊二十・三×十四・八 無界九行二十字注文小字雙行 單魚尾白口 眉注 送返縱點

首元文二年山內元春「荊楚歲時記小引」 次「荊楚歲時記／晉宗懷著 武林徐仁中閱」 版心題「歲時記」 刊記

「元文二年丁巳首夏一大坂心齋橋筋唐物町古本屋／北田清左衛門版行」 無印

第十三 政書類

八 法令之屬

大明律三十卷條例三卷 明劉惟謙等奉敕撰 荻生觀點 (享保八年刊) 明治期大阪河內屋忠七等後印本 全九冊 1604—

195

單邊二十二・四×十五・一 無界八行二十二字 單魚尾白口 傍注 送返縱點

首洪武三十年「御製大明律序」 次洪武七年劉惟謙等「進大明律表」 次「服制圖(版心)」 次「在京納贖諸例圖」

次「收贖圖」 次「五刑獄見圖(版心)」 次「六臟圖」 次「八字之義(版心)」 次「大明律目錄」 次「大明

律卷第一」 以下至卷三十 次「問刑條例名例律」 以下至卷三 次享保七年物部(荻生)觀「題明律後」 版心

題「明律」 奧付「大坂 河內屋忠七」等出版者全十一氏 題簽題「明律」又「享保／刊行」 印記「多々良藏書」

十一 交涉之屬

萬國公法四卷 美國惠頓撰 丁韋良訳 慶應元年開成所刊江戸萬屋兵四郎後印本 全六冊 文620

雙邊二十一・二×十五・〇 有界十行二十一字 有圖 單魚尾白口 眉注 傍線 句送返點

首同治三年董恂「萬國公法序」 次同治二年張斯桂「萬國公法序」 次「總目（版心）」 次「凡例」 次「地球全圖（版心）」 次「第一卷釋公法之義明其本源題其大旨」 以下至卷四 卷四末有識語 版心題「萬國公法」 封面題「萬國公法」 又「同治三年歲在甲子孟冬月鐫」「京都崇實館存板」「慶應元年開成所繙刻」 末有元治元年萬屋兵四郎出版書目 題簽題「萬國公法」 又「官版」 印記「坦／山」「如中」「无边風月」

子部

第二 儒家類

一 議論經濟之屬

忠經集註詳解一卷 漢鄭玄撰 明余昌年校 元祿二年跋刊京都淺見吉兵衛後印本 全一冊原裝二冊（明治新註古文孝經校本一卷合冊） 1504—139②

單邊（二十二・八、十七・五、十三・三）×（十六・〇、十二・一）（龍頭、兩層） 無界八行十三字注文小字雙行

單魚尾上黑口下白口 送返點

首宣德九年韓陽「忠經序」 次馬融「忠經序」 次「忠經集註詳解／漢扶風馬融撰／漢北海鄭玄註／明潭陽余昌年訂」上層「御覽頒行／忠經解」 次元祿二年宇遜菴的（宇都宮由的）「跋」 版心題「忠經」 刊記「雒陽書肆 淺見吉兵衛藏版」（跋末匡廓外） 題簽題「忠經集註詳解」 無印

貞觀政要十卷 元戈直撰 山本惟孝等校 文政六年南紀學習館刊紀州帶屋伊兵衛等後印本 全十冊 文619（卷一、二、四）、2001—440（卷三、五以下）

單邊（二十二・七、十九・三）×十三・五（兩層） 有界九行二十字注文小字雙行 雙魚尾白口 傍線 句送返縱點

首文政五年山本惟孝「校刻貞觀政要序」 次成化元年「御製貞觀政要序」 次吳澄「貞觀政要集論題辭」 次至順四年郭思貞「郭序（版心）」 次戈直「戈序（版心）」 次「集論諸儒姓氏」 次吳兢「貞觀政要序」 次「貞觀政要卷第一」 以下至卷十 次文政五年山本元恒「校刻貞觀政要後序」 版心題「貞觀政要」 刊記「南紀學習館藏版之記」（後序末） 奧付「文政六年癸未正月發兌」 又「紀州／帶屋伊兵衛」等出版者全四氏他 題簽題「貞觀政要」 印記「紀／章」「四教堂藏」「中島時軒／藏書之印」

一一 性理之屬

近思錄十四卷 宋朱熹・呂祖謙編 明葉采集解 江戶期大阪加賀屋善藏等後印本 全四冊 631

單邊十六・一×十一・七 無界八行十六字注文小字雙行 單魚尾白口 送返縱點

首淳祐十二年葉采「進近思錄表」 次淳祐三年呂祖謙「近思錄集解序」 次「近思錄」 次「近思錄卷之一／新安

朱熹／東萊呂祖謙一編集 建安葉采集解」 以下至卷十四 版心題「近思錄」 奧付「賣弘所 浪花書林／加賀屋善藏」等出版者全四氏 題簽題「近思錄」 印記「〔西／谷〕山口藏書」

三 考訂之屬

攷古質疑六卷 宋葉大慶撰 享和二年據武英殿聚珍版本重刊享和三年江戸堀野屋仁兵衛等印本 全二冊 1504—144

左右雙邊十九・六×十三・〇 有界九行二十一字注文小字雙行 無魚尾白口 句返點

首淳祐四年男釋之（葉釋之）「攷古質疑原序」 次「攷古質疑目錄 武英殿聚珍版原本」又有乾隆四十年黃壽齡等

奏文 次「攷古質疑卷一／宋葉大慶撰」 以下至卷六 版心題「攷古質疑」 刊記「享和二年刊」（卷六末丁末行）

奧付「享和三癸亥年新鐫」又「江戸 堀野屋仁兵衛」等出版者全二氏他 印記「靜寄／畫圖／書印」

四 家訓勸學鄉約之屬

小學六卷 明陳選句讀 後藤世鈞點 後藤師周校 文化七年大阪山内五郎兵衛等刊本 全四冊 文621

單邊二十一・一×十五・五 有界九行十六字注文小字雙行 雙魚尾上小黑口下白口 句送返縱點

首崇禎八年「御製重刊小學序」 次成化九年陳選「小學句讀序」 淳祐七年晦菴（朱熹）「小學序／天臺陳選句讀」

次「諸儒小學總論」 次「小學題辭」 次「小學卷之一／天臺陳選句讀」 以下至卷六 版心題「小學」又「北村

藏」 封面題「〔改／正〕小學句讀」又「芝山後藤先生定本」「男師周校訂」「林家正本」 奧付「文化三年甲寅正

月上梓／文化七年庚午六月發行」又「浪華書肆山内五郎兵衛」等出版者全二氏 題簽題「〔新刻／改正〕小學」又

「後藤點」 印記「字／伯光」「毛印／高謙」「客坐／之印」

小學六卷（卷六闕）明陳選句讀 後藤世鈞點 後藤師周校（明治十四年北村四郎兵衛）刊本 二冊 2002—455A

單邊二十一・七×十五・七 有界十行十七字注文小字雙行二十二字 雙魚尾上小黑口下白口 句送返縱四聲點

首第一至七丁虫損 次「諸儒小學總論」 次「小學題辭」 次「小學卷之一／天臺陳選句讀」 以下至卷五 版心

題「小學」 封面題不明（虫損） 題簽題「〈新刻／改正〉翻刻小學」又「後藤點」 印記「佐伯／學校」（丸印）

「佐伯／學校」（角印）

同版（卷一至四、六闕） 一冊 2002—455B

印記「佐伯／學校」（丸印）「佐伯／學校」（角印）

第十 雜家類

一 雜學之屬

菜根譚前集一卷後集一卷 明洪自誠撰 汪乾初校 鈔本 全一冊 1504—140

無邊二十七・七×十八・一（書形） 無界八行十八字 無魚尾白口 無點

首于孔兼「菜根譚題辭」 次「菜根譚前集／還初道人洪自誠著／覺迷居士汪乾初校」 以下後集 版心題「菜根談」

題簽題「菜根譚」（書） 無印

第十一 類書類

一 彙考之屬

標題徐狀元補注蒙求三卷 唐李翰編 宋徐子光注 服部元喬校 寬政二年江戸山崎金兵衛等刊本 全三冊 16—245

單邊十九・五×十五・一 有界十一行大字不定中字二十字 單魚尾白口 眉注 傍線 句送返點

首元文四年服元喬(服部元喬)「新刻蒙求序」 次天寶五年李良「薦蒙求表」 以下有李華序徐子光序 次元文四年服(服部)惟恭「蒙求考例」 次「標題上(版心)」各卷前有「標題(版心)」 次「標題徐狀元補注蒙求卷上」 以下至卷下 版心題「新刻蒙求」 奧付「寬政二年庚戌春三月再板」又「東都 山崎金兵衛」等出版者全四氏等 無印

卓氏藻林八卷 明卓明卿編 王世懋校 元祿十一年跋印本 全八冊 1703—322

單邊十九・六×十三・五 無界十行二十字注文小字雙行 無魚尾白口 傍線 送返縱點

首萬曆八年皇甫汈「卓氏藻林序」 次萬曆九年卓明卿「卓氏藻林自序」 次「卓氏藻林凡例」 次「藻林目錄」 次「卓氏藻林卷之一」武林卓明卿徵甫編輯／吳郡王世懋敬美校正」 以下至卷八 次元祿十一年三雲義正新四郎「跋卓氏藻林」 版心題「卓氏藻林」 題簽題「卓氏藻林」 無印

新刻重校增補圓機活法詩學全書二十四卷新刊校正增補圓機詩韻活法全書十四卷(詩學全書卷六以下闕) 明王世貞

校 菊池東勻點 明曆二年京都八尾勘兵衛刊本(雨花齋藏板) 十冊 1701—280—1

單邊二十三・〇(韻二十三・三)×十六・三(韻十六・〇) 無界十一(韻十)行二十五(韻三十)字 雙(韻單) 魚尾上白口下黑口(韻白) 送返縱點

首萬曆李衡「絛圓機詩學活法全書」 次「新刻重校增補圓機活法詩學全書卷之一」大倉鳳洲王世貞校正／蕭灘後學

楊淙參閱／續谷益軒唐謙繡梓」 以下至卷五次 明曆二年菊池東勻〔敘〕 次「圓機詩學活法全書總目」 次「圓機韻學活法全書目錄」 次「新刊校正增補圓機詩韻活法全書卷之一／弇州山人鳳洲王世貞增校／金陵三山益軒唐謙繡梓」 以下至卷十四 版心題「圓機活法」 刊記「明曆二丙申歲仲冬良旦／洛陽寺町下本能寺前／八尾勘兵衛梓行」〔詩韻活法全書卷十四末丁裏〕 封面題「圓機活法詩學大全」 又「不許翻刻」「雨花齋藏板」 題簽題「圓機活法」 無印

新刻重校增補圓機活法詩學全書二十四卷新刊校正增補圓機詩韻活法全書十四卷 明王世貞校 菊池東勻點 延寶元年京都積德堂印本 全二十冊 628

單邊十七・一×十二・一 無界十行二十五字 雙魚尾白口 句送返縱點

首萬曆李衡「紋圓機詩學活法全書」 次明曆二年菊池東勻〔叙〕 次「圓機詩學活法全書總目」 次「新刻重校增補圓機活法詩學全書卷之一／大倉鳳洲王世貞校正／蕭灘後學楊淙參閱／續谷益軒唐謙繡梓」 以下至卷二十四 次「圓機韻學活法全書目錄」 次「新刊校正增補圓機詩韻活法全書卷之一／弇州山人鳳洲王世貞增校／金陵三山益軒唐謙繡梓」 以下至卷十四 版心題「圓機活法」 刊記「延寶〔癸／丑〕孟冬吉辰／雒陽御前町／書林 積德堂重梓」〔詩韻活法全書卷十四末丁裏〕 題簽題「圓機活法」 印記「中島時軒／藏書之印」「紀／章」「○印／神主」 不明印1 書入「西鄉左太史之贈／中島損藏書／西鄉左太史信尹具」〔表紙裏〕

新刊古今類書纂要十一卷（卷十二闕） 明璩崑玉編 葉文懋校（寬文九年印本） 四冊 1504—146

單邊二十一・三×十四・九 無界九行十八字相當注文小字雙行 單魚尾白口 送返縱點

首天啓元年沈際飛「古今類書纂要敘」 次「新刊古今類書纂要目錄」 次「新刊古今類書纂要卷之一／龍丘璩崑玉朝聘甫纂集／同邑葉文懋汝功甫校閱／金閭錢國煥郁之甫梓行」 以下至卷十一 版心題「類書纂要」 題簽題「古今類書纂要」 印記「月／□」「□□／常住」

第十二 小說家類

二 異聞之屬

搜神記二十卷 晉干寶撰 明胡震亨等校 元祿十二年井上忠兵衛等刊本 全一冊 1504—138

單邊十八・三×十參・參 無界九行十八字 單白魚尾白口 送返縱點

首干寶「搜神記序／晉散騎常侍新蔡干寶令升撰」 次「搜神記卷一／晉干寶撰 明胡震亨毛晉同訂」 以下至卷

二十 次元祿十二年一色時棟「跋（版心）」 版心題「搜神記」 刊記「元祿十二己卯夏吉辰日 書林一林氏正五

郎／井上忠兵衛一藏／版」（跋末丁裏） 無印

情史類略二十四卷（卷一至七、十以下闕） 明詹詹外史撰 清刊本 一冊 16—244

左右雙邊十九・一×十三・二 有界九行二十一字 單魚尾白口 傍點 句點

首「卷之八情感類」（目錄） 次「情史類略卷八」 以下卷九 卷前有目錄 次「補遺」 版心題「情史」 無印

第十三 釋家類

六祖大師法寶壇經二卷（卷下闕）

唐釋惠能撰 山田大應注 明治十八年序愛知松屋書店矢野平兵衛刊本 一冊 坂本1

雙（內單）邊（二十一・一、十六・七）×（十五・六、十三・二）（龍頭） 無界九行十八字 單魚尾白口 傍注

句送返點

首乙酉不明氏〔序〕 次明治十八年山田大應「六祖壇經重刻自序」 次至元二十七年釋德異「六祖法寶壇經序／古
錫比丘德異撰」 次「六祖大師緣起外紀」 次「六祖大師法寶壇經卷上／遠孫比丘 山田大應冠註傍訓」 版心題
「增註六祖壇經」又「文光堂藏版」 封面題「增註六祖壇經」又「明治十七年六月版權免許／日本山田大應編輯」
「愛知縣書肆松屋書藏」 題簽題「增註六祖壇經」 無印

佛果圓悟禪師碧巖錄十卷 宋釋克勤撰 明治期京都貝葉書院刊本 全一冊 1703—321

單邊十七・九×十二・七 無界十一行二十一字注文小字 單魚尾白口 句送返縱點

首大德九年周馳〔序（版心）〕 次大德八年三教老人〔序（版心）〕 末曰「古杭朱子成刊」 次「佛果圓悟禪師碧巖
錄卷第一／師住澧州夾山靈泉禪院評唱／雪竇顯和尚頌古語要」 以下至卷十 卷五、六末有嵎中書隱識語 次宣和
七年關友無當〔後序〕 次「重刊佛果圓悟禪師碧巖錄跋」 次大德六年釋淨日〔跋〕 次延祐四年釋柰陵〔跋〕 次
延祐四年馮子振〔跋〕 次安政六年萬寧玄彙「碧巖集跋（版心）」 版心題「碧巖集」 木記「嵎中張氏／書隱刻
梓」（卷一至四、九、十末） 封面題「校／正」碧巖集」又「福州黃檗山／所藏本刻之」「書肆貝葉書院刊行」 奧
付「京都市／貝葉書院」他 題簽題「再／鐫」碧巖集」 印記「佐伯市／圖書館／藏書」「閱堂／中嶋」「閱／堂」
書入「贈呈土屋治氏／米翁德星主人」（第一冊裏表紙裏）

宣道指歸一卷 美國倪維思撰 一八六六年上海美華書館排印本 全一冊 1703—323

單邊十八・〇×十一・八 無界十行二十三字 單魚尾白口 眉注 句點

首同治元年「宣道指歸」 次「宣道指歸全卷目錄」 次「宣道指歸全卷」 版心題「宣道指歸」 封面題「宣道指
歸」又「耶蘇降世一千八百六十六年倪維思著」「蘇松上海美華書館藏□」 無印

莊子因六卷（卷四闕）

清林雲銘撰

秦鼎補義

（寬政九年刊）

大阪柳原積玉圃河內屋喜兵衛等後印本

五冊

2001—438

單邊（二十二・九、二十・一）×十三・四（兩層）

無界九行二十二字

單白魚尾白口

傍注點

句送返縱點

首寬政九年皆川愿「刻莊子因序」

次寬政八年秦鼎「補義莊子因序」

次康熙二十七年林雲銘「增註莊子因序」

次

林雲銘「凡例

計五則」

次「莊子總論」

次「莊子雜說

計二十六則」

次「莊子篇目」

次「莊子因卷之一／

三山林雲銘西仲評述」

以下至卷六

卷六末有秦鼎跋

次寬政八年伊藤謨「莊子因跋」

次寬政八年服部世猷「補

義莊子因跋」

末有河內屋喜兵衛「浪華書林柳原積玉圃藏書目錄」

版心題「莊子因」

封面題「補義莊子因」又

「獨見附評」「浪華書肆柳原積玉圃

奧付「發行書林

大阪

河內屋喜兵衛」等出版者全十二氏

題簽題「補義

莊子因」又「獨見附標／全六冊」

印記「紀／章」「四教堂藏」

「中島時軒／藏書之印」

太上感應篇圖說八卷

清黃正元撰

清光緒八年序樂善堂刊本

全八冊

1705—340

雙邊十九・六×十二・六

無界九行二十五字

有圖

單魚尾白口

眉注

傍線點

句點

首光緒七年何璟「感應篇圖說序」

次「順治十二年／世祖章皇帝御製勸善要言序」

次「聖祖仁皇帝／上諭十六條」

次「雍正八年十二月二十六日／世宗憲皇帝／上諭」

次乾隆五年奏文

次康熙二十三年王繼文「太上感應篇圖說原

序」次乾隆三年郝玉麟「太上感應篇圖說原序」

次乾隆二十年楊志道「舊序」

次光緒七年王國獻「舊序」

次

乾隆二十年黃正元「太上感應篇圖說序」

次嘉慶九年翥樓居士「重刊太上感應篇圖說序」

次「凡例十六則」末有

黃正元跋

次「流通善書說」

次「太上感應篇圖說增補例言八則」

次光緒八年麥鴻「太上感

應篇」次「得富靈驗記」（版心「孝一」）

次「吉慶避之／弟字號第二卷」

以下至卷八

次「附善過格凡例」

次

「太微仙君善過格」

次「日記善過式（版心）」

次同治七年毛金蘭「重刊感應篇圖說跋」

次「恭跋感應篇圖說七

律四首」

次「樂善堂值事」

次「茲將福建省各善友喜認敬送太上感應篇芳名列左」

次丙戌王星堂「印送太上感

應篇圖說」 版心題「太上感應篇圖說」 封面題「太上感應篇圖說」又「光緒七年春月重鐫（樂善堂藏板／寄在森寶閣／如刻印免祖）」「香山何璟敬書」又有封面「太上感應篇圖說八卷編次／孝弟忠信／禮義廉恥／李文田書」 題簽題「太上感應篇圖說」又「李文田／題」 無印 書肆印「熊／本一上通二丁目／書舖／川口屋又次郎」

集部

第二 別集類

一一 唐五代之屬

孟浩然詩集（存下冊） 唐孟浩然撰 天明八年據元文四年京都長代源七刊本鈔 一冊 1502—73

左右雙十九・〇×十二・七 有界九行十四字 單魚尾白口 句點

首「登張明府海亭」（末題「孟浩然詩集」） 末丁裏曰「元文四紀末歲四月吉辰／京都書林／長代源七開校／天明八

戊申歲□□（虫損）十二月寫」 無版心題 題簽題「〔孟〕（虫損）浩然詩集」又「下」（書） 印記「〔西／谷〕山

口藏書」「尙古／堂藏」

新刊五百家註音辯唐柳先生文集四十五卷外集二卷新編外集一卷別錄一卷（卷六至九、十五至十七、二十一至四十二、外集、新編外集、別錄闕） 唐柳宋元撰 宋魏仲舉編 （嘉應元年刊俞良甫本） 板狀四冊 2002—449

左右雙邊二十・一×十六・八 有界十行十八字 三魚尾小黑口 無點

首「新刊五百家註音辯唐柳先生文集卷第一」 以下至卷四十五 無版心題 木記「祖在唐山福州境界／福建行省與

化路莆田／縣仁德里臺諫坊住人／俞良甫久住／日本京城阜近畿年勞／鹿至今喜成矣／歲次丁卯仲秋印」(卷四十五末) 無印

唐李長吉歌詩四卷外卷一卷 唐李賀撰 宋吳正子箋註 劉辰翁評點 文政元年昌平坂學問所刊本 全三冊 1901—1—15
左右雙邊十九・六×十三・〇 有界九行十八字注文小字雙行 單魚尾白口 句返點
首「唐李長吉歌詩目錄／西泉吳正子箋註／須溪劉辰翁評點」 次「唐李長吉歌詩卷之一／西泉吳正子箋註／須溪劉辰翁評點」 以下外卷 末有識語 版心題「唐李長吉歌詩」 刊記「文政紀元刊」(外卷末丁裏) 題簽題「(官／板)唐李長吉歌詩」 無印

四 南宋之屬

茶山集八卷(卷五、六闕) 宋曾幾撰 館機校 文政十一年大阪種玉堂據武英殿聚珍版本重刊 三冊 1703—325
左右雙邊十二・四×九・一 有界九行二十一字 單魚尾白口 眉注 送返縱點
首文政十一年賴襄「刻曾茶山集序」 次乾隆三十九年「御製題武英殿聚珍版十韻有序」 次「茶山集目錄 武英殿聚珍版原本」 乾隆四十一年陸錫熊等「識語」 次「茶山集卷一／宋曾幾撰」 以下至卷八 次邵齋然等「識語」 版心題「茶山集」 封面題「曾茶山集」又「武英殿聚珍版翻刻」「浪華書肆 種玉堂藏版」「文政戊子秋發行」 無印

第三 總集類

一 文選之屬

評苑文選傍訓大全十五卷 明王象乾撰 元祿十三年京都風月勝左衛門刊本 全九冊 1703—316

單邊(二十三・五、二十・六)×十四・六(兩層) 無界十行二十一字注文小字雙行 無魚尾上白口下黑口 傍注線 句送返縱點

首梁昭明太子「文選序／梁昭明太子蕭統撰」 次「進五臣集注文選表 □延祚」 次顯慶三年李善「李善上文選註表」 次「評苑文選傍訓大全／凡例」 次「評苑文選傍訓大全目錄」 次「評苑文選傍訓大全卷之一／欽差提督紫荊等關易州兵備副使信安四泉余國賓總閱／保定府知府新城霽宇王象乾刪訂」 以下至卷十五 版心題「評苑文選傍訓大全」又「風月版」 封面題「文選傍訓大全」又「遵依一定字樣／較正點畫無訛」 雋陽書肆風月雕刻」 刊記「元祿十三歲／辰二月吉日／華洛二條通衣棚角／風月勝左衛門」(卷十五末丁裏) 題簽題「評苑／改正」文選旁訓大全」 無印

二 各代之屬

增註唐賢三體詩法二卷 宋周弼撰 元釋圓至註 斐庚增註 享保三年京都明誠堂等刊本 全一冊 1703—320

單邊二十一・三×十六・四 無界十行二十二字注文小字雙行 有圖 單魚尾白口 送返縱點

首至大二年斐庚「序」 次方回「序」 次「唐三體詩註綱目」 次「圖」 次「諸家集註唐詩三體家法諸例」 次「增註唐賢絕句三體詩法卷之一」 次「增註唐賢絕句三體詩法卷之一／汶陽周弼伯明選／高安釋圓至天隱註／東嘉斐庚季昌增註」 以下卷二 版心題「三體詩」 刊記「享保戊戌年初夏吉旦／洛陽書肆一含英堂／明誠堂一新刻」